



平成 26 年 9 月

提案箱のご意見に対する病院からのご連絡

数多くのご意見、ご感想をお寄せいただきありがとうございました。ここに、ご意見についての実施状況または回答をご報告申し上げます。

皆さまからのご意見

リハビリ療法士に症状を説明していると「聞いていないことは答えなくていいです」と言われ不安を感じた。

当院の対応

担当者にご意見の内容について確認をしました。肩の痛みがある患者さんには、初回に多くの項目の検査・評価を行わなければならない、時間の制約がある中で気持ちに余裕がなくなり、ご指摘のような言葉遣いになってしまいました。

今後は

- ①初回評価に必要な時間を予測してスケジュールを組むときに十分な時間をとる
- ②患者さんのお話を傾聴しながらも、治療に必要な情報収集ができるような会話を心がける
- ③医療職の基本に立ち返り、すべての患者さんに敬意を持って丁寧な態度と言葉遣いで接する

以上のことに注意して患者さんに関わるようにいたします。また今回の件をリハビリテーション部職員全員で共有し、患者さんの身体と心を癒す医療職としての自覚を持って職務に取り組むようにいたします。



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構

倉敷中央病院

